

Builder:
小林創建
Note:
松本市/A邸
家族構成/4人



A・C_軒をなくした四角い箱のような外観のA邸。外壁は全面塗り壁で仕上げ、これまでの「craft」よりシンプルでモダンな印象に。ウッドデッキが建物より突き出ないよう、あえて袖壁を設けた。 B・D_雨の日も外遊びが楽しい兄妹。1・2階に連なった大きな窓と、元のプランより幅を広げたウッドデッキ。晴れた日はご主人がビールを飲んだり、子どもたちと遊んだり、くつろぎの場に。玄関周りの植栽は、季節感の感じられる植物を選んだ。

カラフルな イームズチェアが映える家

こつこつ集めた
イームズチェアを
インテリアの主役に

四角いキューブ型の外観に、真っ白な塗り壁。これまでの「craft」とはちよっと違う、モダンな印象のA邸。リビングに入ると目に飛び込ん

でくるのが大きなオレンジ色のペンダントライト、そしてブルーやイエローのカラフルなイームズチェア。
部屋を飾る小物などがほとんどないシンプルな設えが選ばれた家具を引き立てて、まるでインテリアショップのような雰囲気です。

「独身の頃からイームズの椅子が好きで、少しずつ買い足してきました。この椅子が似合う家、というのが最初のイメージがありました」
Aさんはご夫婦と小学生、保育園のお子さんの4人家族。これまで住んでいたアパートの近くにcraftのモデルハウスがあり、通るたびに気になっていました。

「モデルハウスの木目の美しい床と漆喰の白い壁、光を取り入れる大きな窓、シンプルで主張しすぎない内装が、椅子が映えるモデルハウスの心地よい空気感がとても気に入りました。『エスコートホーム』で2軒ほど見に行かせていただいて、実際の暮らしぶりを想像できたのも良かったです」というご夫妻。

これまで話を伺った施主の皆さんが口を揃えて言う「モデルハウスの空気感がとても良かった」という言葉。それはどこからくるのでしょうか。

考え抜かれたプランの 「craft basic」を選び 自分たちらしい暮らしに

craftは「工芸」を意味する言葉です。手仕事による繊細な技とセンス、長年にわたって愛用できる機能性。無垢材や漆喰などの自然素材を使い、住むほどに愛

着と味わいを深めていく本物の質感。それらが相まって生まれる身体にすっと馴染むような心地よさ。
具体的な言葉にはならなくても、そこに身を置き五感を通して得た感触を、皆さん「モデルハウスの空気感が良かった」と表現されるのでしよう。
今回Aさんご夫妻が選んだのは規格プランの「craft basic」です。

敷地に合わせてプランニングされた12種類の中から、自分たちの暮らしに合うものを選びます。「四角い箱のような形で、窓の大きな家がいいな」と思い、敷地の大きさや配置を考えてプランを選びました。もともとすごく練られた設計なので、追加で依頼したのはウッドデッキを広くして袖壁を付けたことと、本棚を増やしたことです」

1階はLDKと水周り、2階は主寝室と子供部屋というコンパクトなA邸。必要十分な機能は揃い、物の少ないシンプルなライフスタイルも相まって、とても暮らしやすそうです。
長く愛せる家具を大切に使い、自分たちらしい暮らしをつくる。そんな時間を楽しんで過ごしているAさんご家族です。

G_印象的なオレンジ色の照明はカルテルのフライ。ポップな色使いのイームズチェアやジョージ・ネルソンの掛け時計、広松木工のテーブルなど選び抜いた家具を配したインテリアが生きる、シンプルで上質な空間。H_リビングが一目で見渡せる対面キッチン。ご主人が座っている黄色いチェアは65年前のヴィンテージ。



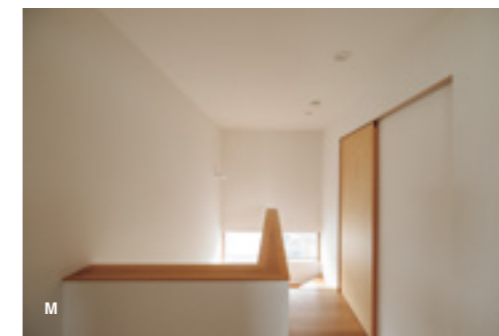
E_吹き抜けの大きな窓から燦々と日差しが入るリビングダイニング。シンプルな空間にこだわりの家具や照明が映える。F_景色を切り取るように設けた、それぞれの窓の位置も秀逸。



O_玄関の小窓からもシンボルツリーが顔をのぞかせる。靴箱の上にはイームズバードなどの厳選した小物を飾って。
P_凹凸のほとんどないスッキリとシャープな外観のA部。



I_将来的に2部屋に区切る予定の子供部屋。大きなホワイトボードでお絵描きしたり、勉強を教わったり。
J_吹き抜けに面したフリースペースは、ご主人のワークスペース。背面にはたっぷりの収納棚を造り付けた。
K_造作収納棚が使いやすさと心地よさを高める洗面室。天井を板張りにしてアクセントに。
L_写真の左手にも収納棚を設けたシュクローク。左右の靴を上下に並べるのが収納力アップのコツ。
M・N_階段の踊り場に設けた横長の窓は、少し低めの位置に。子どもたちが腰かけて外を眺めていることもあるとか。

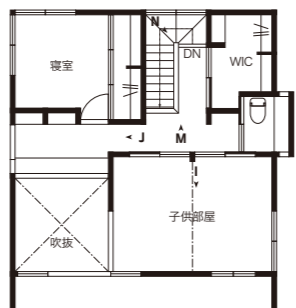


PLAN

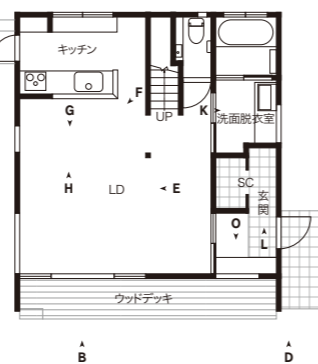
DATA 敷地面積 197.47㎡ (59.62坪)
 延床面積 99.33㎡ (29.99坪)
 1F面積 52.99㎡ (16.00坪)
 2F面積 46.34㎡ (13.99坪)

工法/木造在来軸組工法 基礎/ベタ基礎 構造材/柱:ヒノキ・ハイブリッド集成材、梁:米マツ(一部集成材)、土台:ヒノキ 断熱材/天井:吹き付け硬質ウレタンフォーム160mm、壁:吹き付け硬質ウレタンフォーム80mm、基礎:フェノールフォーム保温板90mm 主な外装仕上げ/屋根:ガルバリウム鋼板立平葺き、外壁:塗り壁 主な内装仕上げ/天井・壁:フェザーフィール塗り仕上げ(一部ビニールクロス)、床:オークフローリング(一部磁器質タイル・クッションフロア) 開口部/アルミ断熱サッシ Low-Eペアガラス(アルゴンガス入り) キッチン/LIXIL AS キッチン熱源/ガス パスルーム/TOTO サザナ HSシリーズ 暖房の種類/温水ルームヒーター・エアコン

2F



1F



J P

A

C



Owner:
 Aさんご家族

Q1. 家づくりで一番大切にされたことは?

A 自分たちの生活に合った住まいづくり。開放的な空間でイームズの椅子が似合う家にしたかった。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは?

A 明るく開放感のあるリビングの大きな窓と、庭の芝生で、子どもたちとサッカーをしたり、テントを張ったりして楽しめること。

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは?

A 土地選びから始まり、いろいろな相談にのってもらいました。困ったときにプロ的確な意見が聞けて良かったです。

Builder:
 広報担当/北澤桂子さん

Q1. この家のコンセプト、ポイントは?

A craft basicという規格プランを基本に、オーナー様のこだわりを盛り込み、コストパフォーマンスとタイムパフォーマンスを高めました。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

A 南面の大きな窓、建物と統一感をもたせた物置小屋、標準仕様から軒を短くし街なかにフィットさせた外観フォルム。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは?

A どんな暮らしがしたいかを丁寧に聞き取り、ご家族にマッチし、末永く愛着もてる住まいを提案することを心がけています。